

持続可能な社会の実現に向けて

行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」の精神を原点としたCSR憲章(経営理念)に「地域社会」「役員」「地球環境」との「共存共栄」を掲げ、「環境」「福祉」「文化」を3本柱としたCSR活動に取り組んでいます(詳細については、別途発行しております「CSRレポート」をご覧ください)。

「エコ・ファースト企業」に再認定

各業界における環境トップランナー企業として環境省が認定する「エコ・ファースト企業」に平成26年6月、再認定されました。最初の認定は平成20年で、経営に環境を取り込んだ「環境経営」のもと、環境対応型金融商品・サービスの提供など環境保全を金融面から促進する「環境金融」への取り組みが認められたことによります。



「環境金融」で低炭素社会へ。



みんなでシェアして、低炭素社会へ。



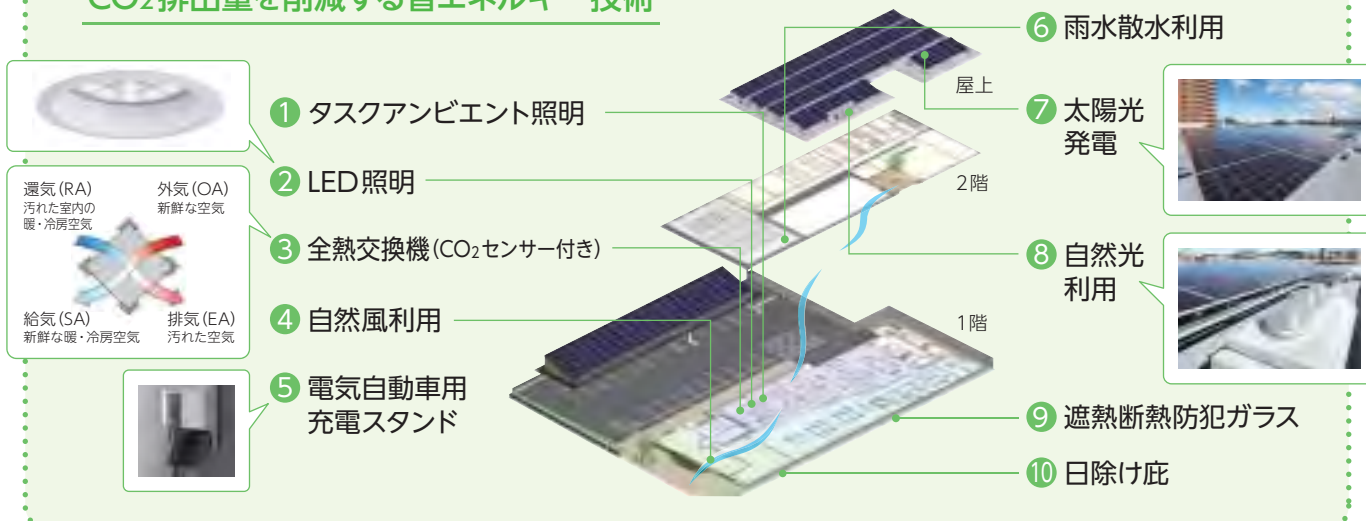
カーボンニュートラル店舗 へ生まれ変わった栗東支店

平成27年6月にグランドオープンをした栗東支店は、最先端の省エネ設備を最大限活用し、CO₂排出量が実質ゼロとなる「カーボンニュートラル店舗」です。

従来型店舗を100%とすると、長寿命・省エネルギー性に優れたLED照明、太陽光を室内に取り込み照明として利用する「スカイライトチューブ」等により、34%(約30トン/年間)のCO₂排出量削減が可能となりました。残りの66%分は324枚の太陽光パネルによる太陽光発電でまかない、実質CO₂排出量ゼロとなります。

また、栗東支店は滋賀県内で行われている低炭素社会づくりに関する優れた取り組みとして高い評価をうけ、第1回「低炭素な『まちと建物』コンテスト」で優秀賞を受賞しました。

CO₂排出量を削減する省エネルギー技術



環境経営を主軸としたCSRの追求で評価

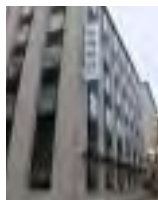
当行は経営に環境を取り込んだ「環境経営」を銀行の要諦と位置づけ、省資源・省エネルギー活動に努める「エコオフィスづくり」、本業を通じた環境保全への取り組みとして金融に環境を組み込んだ「環境金融」ならびに「環境ボランティア」活動を続けています。

この活動により、本年度も数々の賞を受賞しました。



第2回「京環境配慮建築物」顕彰制度で奨励賞

第2回「京環境配慮建築物」顕彰制度で、京都支店が奨励賞を受賞しました。本顕彰制度は、京都にふさわしく環境にやさしい建築物の普及、啓発を図るために創設されたもので、京都支店の「京都にふさわしい外装材と色彩による周辺の建物との調和」や「省エネ設備の設置」などが高く評価されました。



表彰式：平成26年12月17日
主催：京都市

第18回「環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門で優良賞

「CSRレポート2014 地域と共に描く未来。」が第18回「環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門で優良賞を受賞しました。2年連続受賞の快挙です。「環境コミュニケーション大賞」は事業者等の環境コミュニケーションへの取り組みの促進と環境情報開示の質の向上のために、優れた環境報告書などを表彰するもので、今回は全国から307点の応募がありました。

2年連続
受賞の快挙!



表彰式：平成27年2月25日
主催：環境省、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム

第3回「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」預金・貸出・リース部門でグッドプラクティス賞

「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」における預金・貸出・リース部門(地方銀行 西日本)において、環境学習「学校ビオトープ」の活動を応援する「エコプラス定期」が高く評価され、グッドプラクティス賞に選定されました。

表彰式：平成27年3月11日
主催：環境省「21世紀金融行動原則」

第1回「買うエコ大賞」で優秀賞

当行の「カーボンニュートラルローン 未来よし」が第1回「買うエコ大賞」で優秀賞を受賞しました。環境に配慮した滋賀県産の商品やサービスを表彰するもので、滋賀県ならではの、金融機関ならではのユニークなサービスであることが高く評価されました。



表彰式：平成27年2月16日
主催：一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク

「『誠実な企業』賞2015-Integrity Award-」で優秀賞

「『誠実な企業』賞2015-Integrity Award-」で当行が優秀賞を受賞しました。この賞は企業の社会的責任、企業倫理、コンプライアンス、内部統制等に優れた取り組みを行っている企業を表彰するもので、当行の①環境を主軸とした「日本の金融機関初」の先進的な取り組み②地域活性化に取り組む地場産業育成銀行のモデル③行是の精神を原点としたすべての活動が高く評価されました。



表彰式：平成27年3月20日
主催：「誠実な企業」賞-Integrity Award- 審議会

持続可能な社会の実現に向けて

しがぎんの継続的なCSR活動をご紹介します

支店独自のCSR活動(一例).....

- 東大津エリア：瀬田川ぐるっとウォークで清掃活動
- 東湖南エリア：オオバナミズキンバイ除去大作戦に参加
びわこ地球市民の森に植樹
守山市医療・健康・環境産業フェアに出展
- 彦根エリア：「びわ湖の日」環境美化活動に参加
- 湖西エリア：ヨシ刈りボランティア
- 湖北エリア：伊吹ススキ刈りボランティア
- 南郷支店：店舗周辺の除草・清掃活動
- 南笠支店：湖南企業いきもの応援団に参加し狼川の生物・水質を調査
- 安土支店・五個荘支店：観音寺城跡整備に参加
- 愛知川支店：愛荘66かまど祭に出展
- 土山支店：甲賀市あいの土山文化ホール周辺の草刈り・清掃作業
- 高島支店：なかまちマルシェに出展
- 長浜北支店・長浜駅前支店：
わーくワーク北小タウン2014で金融教育
- 山科南支店：エコキャップ回収運動

ユニセフ外国コイン募金活動

平成26年7月1日(火)～9月30日(火)
世界の子どもたちのために役立ててもらうため、
全支店に募金箱を設置。



学校ビオトープ贈呈式

平成26年7月7日(月)
子どもたちが自然や生き物とふれあい、環境を学習する場を提供しています。



しがぎん福祉基金 助成金贈呈式

平成26年4月24日(木)
創立50周年に設立した社会福祉法人しがぎん福祉基金は県内の福祉活動に幅広く助成しています。



びわ湖環境ビジネスメッセ2014出展

平成26年10月22日(水)～24日(金)
「環境ビジネスのサポート」をテーマに環境経営や環境金融の取り組みを紹介しました。



ビワマス遡上プロジェクト

平成27年3月22日(日)
琵琶湖の固有種で準絶滅危惧種のビワマスの卵350粒を役職員が育て、米原市天野川支流の丹生川に稚魚を放流しました。



ヨシ苗植えボランティア

平成26年11月8日(土)
ヨシ群落を「守り、育てる」活動のひとつ。71名が参加。



ヨシ刈りボランティア

平成26年12月6日(土)
ヨシ群落を「守り、育てる」活動のひとつ。520名が参加。刈り取ったヨシは役職員の名刺に生まれ変わります。



森づくりサポート活動

平成26年8月23日(土)
平成26年10月18日(土)
びわこ地球市民の森で除草や枝打ちに1,240名が参加しました。



日本列島グリーン大作戦

平成26年6月29日(日)
琵琶湖一斉清掃に85名が参加しました。



ニゴロブナ・ワタカ放流式

平成27年1月24日(土)
「カーボンニュートラルローン 未来よし」の拠出金で、ニゴロブナ約28万匹、ワタカ約19万匹相当を放流。



外来魚駆除・釣りボランティア

平成26年5月18日(日)
琵琶湖の生態系を取り戻すために実施しています。176名が参加。5回目となる今回で、釣果は累計5,546匹、179.8kgです。

